

10 病性鑑定（主に病理部門）作業の改善取り組み

○藤森英雄

要 約

家畜保健衛生所の業務の効率化、コスト削減を図るため、当所でも様々な取り組みを行っている。これまでに実施してきた病性鑑定（病理部門）に関する改善事例を紹介する。1）病性鑑定受付時に用いるカルテ様の「病性鑑定受付第一報」様式を作成した。これにより、検体受付時の聞き取りの徹底（未聴取項目の防止等）、検査・対応方針の明確化、統一的な記録としての保存が可能となった。2）①病理関連の業務では、病理標本撮影時の照明器具の改良、②家庭用掃除機を利用した薄切層の吸引③未使用機材（顕微鏡台、パソコン台、モニター）の活用による作業環境の改善④異なる染色の病理写真撮影位置の調整を容易にするために画像を書き込めるように、ラミネートフィルムのモニター画面への貼り付け、などにより作業の改善が図れた。3）近年、様々な研修生（獣医系学生、新規採用者等）の受入・対応の機会が増加する中、多様化する研修に対応するために、①種々の研修資料のラミネート加工による頻回利用、②実技体験（パラフィンブロック作製、薄切標本のスライドグラス貼り付け）に使う研修専用材料の事前準備、などにより、研修時間や人数に対して臨機応変な病理部門研修が可能となり、研修対応への負担が軽減した。

（本演題は、口頭発表で要約と図表のみ掲載しています。）

東京都産業労働局の業務改善の取り組み

取り組みの視点

- ① 都民サービスの向上
- ② コストの削減
- ③ 内部事務の効率化
- ④ 組織力の向上
- ⑤ PR力の向上
- ⑥ 危機管理の徹底

プロジェクトチーム

- ・リーダー
- ・マネージャー
- ・メンバー

改善取り組み

提出・発表、表彰

平成28年度の取り組み(一部)

- 過去の家保の取り組み
 - ・ファイルサーバーの活用改善
 - ・広報業務の改善
 - ・保管スペース(書庫・倉庫)の有効活用
- 自動車のフロアマットの洗浄・消毒後の乾燥
- 荷物室のマットの保管場所の整理整頓

業務改善→どんな組織(自治体)でも実施 <職員も意識>

病理関連業務(作業)に従事してみると、
様々な気づき!!!?? → **改善に取り組み**

紹介する取り組み事例

病性鑑定(主に病理担当)作業

- 1) 病性鑑定受付時に係る対応
- 2) 病理関連業務(標本作製行程)
- 3) 研修(病理部門)への対応

<数年前からの取り組み事例もあり>

1) 病性鑑定受付時に係る対応

病性鑑定事例 → 電話(現地) → **メモ(記録)**

- ・下痢をする個体が急に増えた
- ・死亡数が増えた
- など

→ 対応者により、ばらばら
・あらためて書き直し
・聞き漏らし

診療ならカルテ

病性鑑定に係る書式

- ◎ 剖検記録
- ◎ 病性鑑定記録簿(回覧、決済)
- ◎ 各種検査成績書
- 病性受付時の書式

なし

● 「病性鑑定受付第一報」様式の作成 (検査依頼書)

「病性鑑定受付第一報(Ver.5)」様式 A4サイズ1枚・両面(牛、豚、鶏 共通)

表

- 受付日時、依頼(飼養)者等の情報
- 現状(症状) <箇条書き>
- 聞き取りミスの防止
- 処置状況
- 検体の状況(いつ誰が何を搬入(現地)へ)
- 検査方針、結果連絡

裏

- 個体、群の詳細状況
- 現場で実施した検査状況
- 過去の状況等

◎ 受付時の症例・事例の状況、聞き取りの徹底、検査方針の明確化 ◎ 保存

2) 病理関連業務の取り組み 病理検査室の機器類レイアウト

病理標本作製作業の流れ

染色機 → 封入機 → 伸張機 → 湯せん鍋 → ミクローム → ブロック作製機 → パラフィン包埋機

装置の配置:

- 換気扇 (赤)
- エアコン
- 屋外
- プッシュプル型排気装置
- 実験台
- 流し
- 出入口
- ロッカー
- 顕微鏡
- 顕微鏡
- 書庫

● 作業環境の改善

- ・作業導線に従った機器の配置
- ・換気が必要な機器(赤色)を換気扇に近い場所への配置

切り出し

従来のライト: 発熱

プッシュプル型排気装置導入(平成22年度)

◎ホルマリン暴露の軽減

プラスチック製ボール

電球型蛍光灯

装置の照明

内面

遮紙

粘着剤付アルミシート

卓上スタンド設置

使っていなかった撮影装置を改良して利用

◎ 照明増設による照度の確保

作業・標本撮影

パラフィン包埋機周辺

・機械の発熱による夏季の室温上昇
・部屋のレイアウト上、換気が不十分

溶解したパラフィン

発熱

26.1℃ サーマグラフィーの画像

16-11-30 10:59

16℃ 58℃

石膏パネルを設置(夏期)

熱を遮断

換気扇

エアコン

排気ダクト設置

◎ 熱・排気対策

ミクローム周辺

薄切

卓上スタンドの設置

掃除機の設置

パラフィン層の吸引

フットスイッチの設置

ノズルの先端

薄切屑が散乱

◎ 薄切屑対策と照明増設で作業環境を改善

顕微鏡周辺

実験台
改善前
改善後

実体顕微鏡
生物顕微鏡
生物顕微鏡

レイアウト変更(書庫移動)で使っていなかった機材の活用
・顕微鏡台、パソコン台
・モニター

◎ 顕微鏡回りの作業環境改善

システムのモニター
43cm
30cm
設置したモニター(A3サイズ)

フィルムを貼付
ホワイトボード
マーカー

A3サイズのラミネートフィルム1枚
何も挟まず、ラミネーターに通す
(加熱処理する)
強度のある、透明なフィルムの完成
<耐アルコール>

既存の事務用品を利用
◎ 安価で簡単な対策

異なる染色標本の同一部位の撮影時に位置決めのために画像の書き込みが可能

3) 研修への対応

家畜保健所における研修(見学)に対応する機会の増加

- 研修者(見学者)
 - ・獣医学の学生(学年はさまざま、人数)
—大学のカリキュラム、中央畜産会などの事業、家保に直接申し込み(個人)
 - ・東京都新規採用者(職場体験) → 獣医師ではない(さまざまな職種)
 - ・人事異動に伴う、職場への訪問(獣医職 or 他の職種)
- 対応時間
10数分 ~ 数日

その都度、準備・対応は負担大!

病理検査室での説明 → 顕微鏡で観察するのが仕事

病理標本ができるまで
病理標本(肝臓)
(サルモネラ)
血液塗抹標本
糞便検査
(コクシオオシスト)
外部寄生虫

<A4サイズ>

病理標本作成工程の拡大資料

鶏採血
気管スワブの採取
症例・実技関連の資料
◎ ラミネート加工し、頻回利用
POX
鶏コレラ接種
PED-IHC
善感反応
鶏ワクチン接種
鶏尿線上接種

労働安全衛生
(病理室内に掲示)

資料を持つての説明：紙芝居方式

実物大の資料
(牛の肝臓)
東京産畜産物のパッケージ
使用資材・実物等の展示

実技の研修

薄切した切片
包埋済の臓器
実技：採血、スワブ採取、解剖
(デモ・説明後、ひとり1羽の解剖)
職場体験
(獣医師でない)
実技：ブロック作成
実技：スライドガラスへの貼り付け

あらかじめ、標本作製行程途中の研修用材料を使った実技：料理番組方式

研修生(獣医学)に、何を知りたい? → 家保業務を知りたい

病性鑑定
病理部門 → 病理組織学的検査の流れ
(病理標本ができるまで)
資料等の展示
過去の事例
<簡単な実技>

(研修期間の長い獣医学学生)
解剖~病理標本作成
<充実した実技>

他の家保の仕事
・家畜衛生
・法律
・東京の畜産
・他部局の獣医師の仕事

ラミネート加工した資料(40枚以上)

研修受け持ち時間が変更しても、臨機応変な対応が可能
研修対応の負担軽減

